

## 第5回 議員定数等議会改革推進特別委員会記録

日時：令和2年2月18日(火)

10時00分～12時04分

場所：第4委員会室

【出席者】 牛尾委員長、西川副委員長、沖田委員、小川委員、笹田委員、佐々木委員  
西田委員、西村委員

【議長・委員外議員】

【事務局】 古森局長、篠原書記、新関係長

### 議 題

#### 1 議員定数等について

- (1) 長期間定数24人を維持している団体について
- (2) 人口4～6万人の団体における定数等について
- (3) 定数24人の団体における報酬について
- (4) 市民アンケートの実施(案)について
- (5) その他

資料 1

資料 2

資料 3

資料 4

#### 配付物

- ・報酬等審議会へ提供された資料について

#### 2 政務活動費について

- (1) 監査委員からの指摘事項に対する対応について
- (2) 広報費について
- (3) その他

資料 5

#### 3 行政視察について

**4月16日、17日に実施することに決定**

#### 4 その他

○次回開催 3月10日(火) 13時30分 第4委員会室

【詳細は会議録のとおり】

## 【会議録】

(開議 10時00分)

牛尾委員長 | 第5回議員定数等議会改革推進特別委員会を始める。  
早速次第に沿って進める。

### 議題1 議員定数等について

#### (1) 長期間定数24人を維持している団体について

牛尾委員長 | 次長から説明をお願いします。  
篠原書記 | (以下、資料1をもとに説明)

牛尾委員長 | 資料1は定数24を7年以上維持している団体を抽出した。滋賀県草津市などは1959年9月から24を維持し続けている。  
視察に行くとするれば、同程度の面積と人口で、というのが参考になる資料。例えば豊岡市も浜田市と同時期に合併している。伺うならなるべく近くが良いと思う。昨年真庭に伺った際には定数のことは頭になかったのもったいなかった。  
西田委員 | この資料についてご意見があれば伺いたい。  
面積と人口の資料だが、もう少しあれば良い。逆に言えば豊岡市が同じことを考えていて、浜田市は同じ時期に合併して同じ規模だと思いかもしれない。何か他に情報があればと思う。  
小川委員 | 極端に多い所、少ない所。人口が少ないのに24を維持している所、多いのに24を維持している所は、どういう考えがあるのか。根拠を知ることが勉強になるのではないか。  
笹田委員 | 佐賀・伊万里は人口減少していて24を維持している。市民に理解されながら維持していると推測できる。どういう取組があるか、市民感情も含めて聞いてみたい。  
牛尾委員長 | この特別委員会は議員定数もやるが議会改革もあるので、定数について1市、議会改革で1市行きたいと考えている。笹田委員の意見は傾聴に値する。  
他にあるか。  
(「なし」という声あり)

#### (2) 人口4~6万人の団体における定数等について

牛尾委員長 | 篠原次長。  
篠原書記 | (以下、資料2をもとに説明)

牛尾委員長 | 抽出条件は視察に行ける距離範囲としている。浜田市含め56市挙げた。面積はバラつきがあるのでどれだけ参考になるかは分からないが抽出した。  
牛尾委員長 | この資料についてご意見はあるか。  
笹田委員 | 真庭と伊万里は資料1にも2にも入っている。人口規模で言えばうち

小川委員

は多い方かと思う。議員定数を減らす理由は市民感情や財政規模がかかわると思う。近くで参考になりそうな所は行って勉強したい。

牛尾委員長

セミナー等の講師が言うには最低限必要なのは3人だそうだ。委員会の運営や課題に対する対応だとか浜田との違いなども知りたい。

15、16人で参考になるとしたら隣の江津市も16なので、日帰りで行っても良いかもしれないが。

篠原書記

市規模、予算に対する議会費の占める割合は1%を超えたらいけないと言われるが、そういう切り口もある。次長、調べられるだろうか。

古森局長

あると思う。

牛尾委員長

決算統計が出ていると思う。

沖田委員

他にご意見はあるか。

牛尾委員長

全体予算の1%か。

はい。偉い先生に言わせると議会が1%を使うべきという考えを持っている方もおられる。しかしなかなかそこまでいってないのが現状だ。

他にあるか。

( 「なし」という声あり )

### (3) 定数24人の団体における報酬について

牛尾委員長

篠原次長。

篠原書記

( 以下、資料3をもとに説明 )

年収についてはぱっと見で計算しづらいので出しておけば良かったかもしれない。人口規模が大きい所は報酬も多い傾向がある。報酬等審議会も類団の報酬一覧を情報提供しているが、それを見ても浜田市の報酬は低いと言える。

牛尾委員長

報酬審の傍聴をしたが、安すぎるという貴重なご意見が出た。真庭も10年ほど前に浜田市に視察に来られている。真庭も浜田市を意識して考えておられる。三次も。

政務活動費が少ないという意見が多い。その他意見を聞いていると、あげるなら定数を下げろという議論しか出なかったのが非常に残念だ。議会活動による多い少ないを議論していただきたかったが。逆に言えば議会自らこの額が必要だということを言っていく必要がある。

では次へ移る。

### (4) 市民アンケートの実施(案)について

牛尾委員長

篠原次長。

篠原書記

( 以下、資料4をもとに説明 )

前回、今後のスケジュール案を示した。5月に市民アンケートなり意見交換会などをしてはどうかと示した。そこで、市民アンケートはした方が良いという話になったのでその案を示した。

9月議会では結論を出すとのことなので、早めが良いと考え5月の間。

前回平成 24 年の時は議会だよりにはがき大のものを刷り、切り取って送っていただく手法にした。その方法でいくと議会に特別な興味がある方、批判がある方に意見が偏る可能性があり、郵送代もかかる。

今回示す案は、18 歳以上の市民 500 人を無作為抽出し、封書を送付し回収してはどうかというもの。

その他としてウェブ上アンケートも実施してはどうかと考える。島根県がやっているしまね電子申請サービスでできるとうかがっているのもそれを利用しては良いと思う。

A4 版アンケートの例を資料に示した。前段において浜田市議会の活動や議会改革、その効果や結果などを簡単に紹介している。参考に県内 8 市の定数も書いたうえでご意見をうかがいたいという形にした。

質問は 6 項目にした。これを見ながら返信用はがきに記入し、投函してもらおう。

牛尾委員長

正副委員長と事務局とで協議し、このような形を提示した。読んでいただける最小限の情報にした。これは敲き台である。今日はご意見をうかがうのみにしようか。

篠原書記

早めに決定していただきたいが。

笹田委員

予算はどれくらいかかりそうか。

篠原書記

500 人で返信用はがきは 53 円。封書にするので 80 円超。13 万超くらいと思われる。

笹田委員

前回はいくらかかったか。

篠原書記

すぐには分からない。

笹田委員

前回と同じ回収率だったとして約 60 人しかない。予算をかける価値があるのか疑問がわく。

西村委員

要するに宛先は個人名にするのか。

篠原書記

はい。

西村委員

個人名で届けば回収率は前回より上がるのでは。

笹田委員

返してくれるかどうかは分からない。

篠原書記

以前、観光にいた時に神楽殿を作るか作らないかの議論があり、その際に市民アンケートをやった。その際の回収率は 40 パーセントだったので、回収率は良いと思った。

笹田委員

いま歴史資料館のアンケートをやれば 9 割帰ってくるだろう。

牛尾委員長

前回の議員定数問題の時にはアンケートはやっていない。

篠原書記

前々回やっている。

牛尾委員長

提案だが、そういうアンケートを取る必要がないというなら取らない。

笹田委員

アンケートを実施することは前回決まったので、できれば多くの回収を見込みたい。

牛尾委員長

副委員長から、往復はがきより返信用はがきの方が良いのではという意見が昨日あった。

西村委員

記名が良いと思う。そうすると後追いができる。そうでないと議論が

深まらない。

沖田委員

500人抽出と言われたが、去年の議会報告会には255人の方が来られている。報告会の時にアンケートを取ったらどうか。

小川委員

ウェブ上でのアンケートも検討というが、500人とは別か。

篠原書記

別のつもりだ。QRコードを付けたりなどもできるのだが。抽出する500人が少ないという意見もあるかもしれないので、ウェブ上で上乘せ回収ができればと考えている。

小川委員

その場合のやり方は、広報はまだで周知してそれにQRコードを付けるのか。どのように周知するのか。どういう対象に呼びかけるのか。

篠原書記

周知方法は考えていないが、市や議会のホームページ上でお知らせするかもしれない。

笹田委員

500プラスでこれをやるなら良いと思う。広報広聴に1ページもらって、先程の正副委員長で考えられたアンケートの冒頭部分やアンケートとQRコードを載せて、回答はここからできるとやれば良いのでは。ホームページ上のアンケートにどれくらい予算がかかるか。

篠原書記

それはかからない。

小川委員

意見のある人、興味のある人に偏るという点は分析する側が踏まえればいい。多く意見が集まることは大事だ。

西田委員

いままでの意見のように進められれば良い。議会と深くかかわる市職員の方々は地域のいろんな事情にも詳しいので、彼らからアンケートを取ると良いと思うのだが。いかがだろうか。

牛尾委員長

貴重なご意見を承る。

沖田委員

職員からなら批判が多いと思う。

西田委員

それはお互いの思いを行き来しなければいけない。

牛尾委員長

やっても良いかなという気はする。

西村委員

私は記名式の方が良いと思った。質問2と3はあまり面白くない。ある程度関心を持っておられる方については質問2の内容でも良いと思うが、関心がない人が一定数おられて、そういう方を振り分けたい。分からないと、違うのではないだろうか。関心がないということを明確にしたい。関心がないから分からないということもあるし、関心はないがここに書かれていることが事実ならそれは評価するとか。

関心がないと質問3には答えられないのではないだろうか。質問2と3にはもう少し工夫がいる。

牛尾委員長

日常、議会のことを耳にしなければこれらの質問は響かないかもしれない。

西村委員

関心がない人の比率がどの程度あるのか。そこが議会改革の点では非常に大事だ。その上で、せつかくアンケートを取るのだからもうワンクッション生かすために、座談会をできないか。そのためにも記名式が良い。

どうしたら関心を持ってもらえるのか。いろんな人を交えて。

笹田委員 西村委員 笹田委員 牛尾委員長	<p>言われればそうかなと思う。質問5にいろいろ書いてある。          関心がないのに返信をくれればもうけものだ。          質問5は良いことが書いてある。          これはあくまで敲き台なので、皆の意見を聞いて修正したい。          24が適当かどうかとただ言われても、何をもって適当とするのかは分からない。もう少し、本来出るべき答えに導くような説明をしないと、我々の身分にかかわることなので輕輕に質問を作ることはできないと、改めて思った。</p>
佐々木委員	<p>質問内容だが、以前やった内容とあまり変わっておらず、質問5は以前と同じではないだろうか。地方分権で議員活動は増えている。取組は増えている。理由の説明がもう少し必要ではないだろうか。</p>
西田委員	<p>アンケートの中身についてはもう少し踏み込んだ内容にされたら良いかと思った。配布の仕方だが、先般協働のまちづくりフォーラムの際は各自治区まんべんなく皆が集まった。ああいう機会があると、全員に配布して返信の確率は格段にあがる。</p>
牛尾委員長	<p>市民の集いに議員が出かけて行って回答をいただくのも1つの手法だと思う。貴重なご意見だ。</p>
西村委員	<p>アンケートに盛り込むのは難しいと思うが、これまでやってきた議会改革をもっとアピールするべきだ。このように具体的に変わってきたのだと。単に「このように変えた」ではなく、座談会でそういうことを説明し、改革の過程も知らせていくようなことも良いのではないか。市議会だよりの中で示していくことも検討してはどうか。</p>
佐々木委員	<p>議会関係で言うと、議会報告会の中でアンケートを取るのが一番簡単で、しかも関心がある方が出てくるので取りやすい。座談会も良いかもしれないが、来てもらえるかは分からない。議会報告会に来られた方に議会の中身をしっかり説明して知ってもらったうえでアンケートを取るのも1つの方策かと思う。</p> <p>我々が議会の中身をアピールするには、議会報告会の場が最適だろうと思うので、そこでやればどうかと思う。</p>
牛尾委員長 笹田委員	<p>貴重な意見がどんどん出てくる。          期間を絞ってやれば良いと思う。そういう会がある時にやれば良い。ただ、広げすぎると大変なので期限を決めてアンケートを回収し、議論をすれば良い。</p>
牛尾委員長	<p>議会報告会は5月11日から15日なので期間中ではある。議会報告会で時間をいただいて、議会改革について説明し、アンケートをお願いするのも良いかもしれない。250人に説明してアンケートを回収できれば、無作為に500人送るよりも、関心のある方に絞ってやる、プラス、ウェブでも募集する。より正確な答えを求めようと思えば議会報告会の場を借りてその場で書いていただくのが良いかもしれない。</p> <p>今日はいろいろな意見をいただいたので、次回に第二弾の敲き台が出</p>

佐々木委員

せるようにしたい。本日はこれでよろしいか。

議会報告会は確かに要望を聞いたり、定例会議の様子を伝えるのも良いが、議会がどのように改革を進めてきたかを説明することも興味を持ってもらえる手段だと思う。

笹田委員

最初の正副議長の挨拶に入れればいい。

牛尾委員長

会場ごとに同じ内容を話してもらわないといけないので、詳しくは広報広聴委員会にお任せしたい。県内 8 市がどういう位置にいて、浜田市がどの位置にいるかなど、わかりやすい説明を作ると良い。

我々のことをきちんと広報していかないと、我々の活動の広報が必要だ。

今日は泉が湧くようにさまざまな意見をいただき感謝する。

## (5) その他

### 配付物

#### ・報酬等審議会へ提供された資料について

牛尾委員長

篠原次長。

篠原書記

フォルダに入れた資料を参考にさせていただきたい。

牛尾委員長

後で読んでいただきたい。

( 「はい」という声あり )

## 議題 2 政務活動費について

### (1) 監査委員からの指摘事項に対する対応について

牛尾委員長

これについては今日ここでやるのだろうか。

篠原書記

半分は定数をやって、あとの半分はこちらをやることになっている。

牛尾委員長

では説明をお願いします。

篠原書記

( 以下、資料 5 をもとに説明 )

平成 27 年度分から市の監査にお願いしている。指摘事項は 3 つ。都会のリゾート地に行かれて宿泊費が 3 万円くらいかかった事例について指摘された。また、上限を決めている団体もある。浜田市もあり方を研究されたいとなっている。現状は市の旅費規程になっているが、たまたま発生した事例で指摘を受けた。食費は認められないことになっている。したがって特別職の宿泊料を基準にし、その中から食事代を控除して、県内であれば 9,200 円、県外は 10,500 円、政令指定都市は 12,500 円の上限を設けてはどうかという提案である。検討案 2 の欄に他団体の例を挙げたが、まちまちとなっている。

指摘事項 2 つめとして、議員の職業にかかわる定期購読している雑誌等は個人的支出と見られるため、政務活動費をあてるのはどうかという指摘を受けた。これについても検討いただきたい。

指摘事項 3 つめは、議員と担当事務局職員の見解が異なるといけないので、研修を開いたらどうかという指摘である。年度内の 2 月、3 月定

	例会議前に行くなど、何等かの手を打ちたい。
牛尾委員長	監査委員からの指摘である。理想は外部監査だが数十万円かかるので市の監査をお願いしている。監査委員からの指摘については我々の変革を求められている。皆の意見を聞いて一定の結果を出さねばならないだろう。順番に、調査研究費についてこのような指摘があった。意見を伺いたい。
小川委員	私はパックで取るようにしている。宿泊料は石見観光などは高いものしか残ってない。安く抑えようとするとうめタウンの旅行会社になる。結果的に地元事業者にお金を落とせない。サービスでついている食事以外は断ることにもしている。プラン的にどうしても上限金額に抑えられないこともあるが、その場合は自己負担になるのか。だとしたら気の毒だ。
佐々木委員	旅行会社による差は確かにある。検討案にあるように市の旅費規程に沿う形にするしかない。都会地はホテル代が高いので、3万円などは論外だが、政令都市の12,500円でいくしかないのでは。これは特別職でみているのか。
篠原書記	はい。実際市の中では特別職という旅費規程を使ってはいないが、事務局の案としては特別職の方々なのでその基準にしたらどうかと思っている。
佐々木委員	視察が目的でありホテル代については付属条件でしかない。
小川委員	ホテル代が金額を超えた場合、請求書を出しつつ、超えた金額は省いて請求すると皆が徹底されれば良いのではないか。
牛尾委員長	上限額を超えたら自腹と認識すれば良いことだろう。
篠原書記	はい。
牛尾委員長	もともと浜田市議会は、グレーなことはNOとしてやってきた。議員全員にかかることなので、議運に挙げればいいか。
篠原書記	はい。
笹田委員	<p>僕らは非常に安い宿を探す。航空券込で3万円など。交通費・宿泊費込で3万円。どこが線引きかとなった時、しっかりした金額がかけない。</p> <p>ビジネスホテルは朝食抜きができないこともある。それを言われても、そこまで使いにくいものになってもどうかと思う。</p>
篠原書記	<p>基準では、宿泊料に朝食代が含まれており、明確に区分けが分かりにくい分は認めることにもともととしてある。</p> <p>パックで、航空券と宿泊料については明確には書いてないが、基本は実費で、航空代はまるまる実費で見られるし、宿泊代についても今回示させていただき上限いっぱい、残った金額を照らし合わせて、要は今の基準でまるまる見られると思う。</p>
牛尾委員長	パックは除くといった例外があれば、細かい部分は解決できないか。
笹田委員	わかりやすく使いやすいものにしなければ意味がない。金額さえ越えなければ、ということで片づけてもらった方が良いのでは。



う。正副と事務局に任せていただき、敲き台を作ってみる。

( 「はい」という声あり )

3つめの指摘についてはそうだと思うのでそういうことで。

小川委員

グレーの部分に対象者がいるとすれば、例えば年に1回でも指摘部分を全員で確認しあい、共通認識を持てばいいのでは。

牛尾委員長

政務活動費にからむことは4月1日から始まるので、どこかで言わないといけないのでは。全員協議会后などに。

佐々木委員

指摘内容は我々に配られたことがあるか。それすらできてないなら、その情報が我々に来てないことになる。判例など、知識として持っていないと危機感も持てない。それも含めて勉強会をやるべき。新しい判例は次々出る。

小川委員

例えばホームページに上がっているもので、定期的に研修会や意見交換会があればお互いに認識できると思う。2誌以上の場合は政務活動費の該当になるという説明を受けた覚えがある。引き落としの際はどうしたら良いかなど、疑問点を各自お持ちだと思し、勉強会をして欲しい。

牛尾委員長

4月1日にやるとなると、いまの話も含めてどこかで何度かやらないといけない気がする。例えば議会開会日の全員協議会で指摘内容を配り、会期中のどこかで勉強会をすとか、議会最終日まで何かを決めるといったことがあれば良い気がする。いままで可とされたものを駄目だとするなら、事前に告知が必要だと思う。

西田委員

基本的に政務活動費は議員になって新たに湧いてくるものなので、もともと買っているものは各自の自覚のもとで報告しなければいけない。議員によっては同じ農業新聞でも可否が分かれるのか。新たに買う資料と、毎月定期購読するものがあるが、政務活動費を申請する際に担当者に、最初に申告して許可を得てから取ったらどうか。

佐々木委員

基本的に我々が議会活動で使う資料なり見識を深めるために使う費用なので、個人的な職業に必要なものは該当しないのは当然だと思う。何かあった際に我々議員を守るために規定が必要なのだ。判例も含め知識を入れることは必要だ。監査委員は我々を守るために指摘してくれているので、まず勉強が大事ではないか。我々で判断する範囲もあるのは確かだが。

西川副委員長

一概に職業で区切って良いのかという気もする。

牛尾委員長

なかなか難しい。

笹田委員

意図が分かりづらい。

牛尾委員長

監査委員に最終チェックをお願いし、監査委員がおかしいと判断したことが指摘されているのは確かだ。この件はもう少し議論が必要と思われる。導入は4月1日からできるかもしれないが。例えばここに該当者がいれば実態を聞けるのだが。

西田委員

事務局で線引き案があるか。

篠原書記

農業はされていても、日々新聞をとって把握されて一般質問に生かさ

牛尾委員長

れる場合もあるので、全くゼロというわけではなく、半分なり 3 分の 1 なりを見てあげても良いのかなというのが個人的な見解だ。

笹田委員

半分みている団体もある。この程度を宿題にしてもどうかと思うので、次長が言うように半分は見るということでどうだろうか。

牛尾委員長

基準を明確にしておかないといけない。新聞のタイトルまで入れて欲しい。

古森局長

その方が良いかもしれない。

牛尾委員長

個別の名前をあげるのは難しい。

あまり細かいのもまずいが、さりとて税金で買っていると批判される場合があるならそれもまずい。

古森局長

出されたタイトルが該当するかどうかを答えることはできると思うが。

牛尾委員長

この件は正副と事務局とですり合せをして、次回に案を出すこととしたい。

( 「はい」という声あり )

## (2) 広報費について

牛尾委員長

報酬等審議会の中で、広報費は良いのではないかという指摘があった。全額ではなく半額くらい。会長も言われていた。もともとは自己宣伝のためのプライベートなものに公費を使うのは駄目だということできてきた。その分市の広報の議会だよりでやれば良いということだった。我々の政務活動費が少ないため、バランスよく使う必要があるというお考えもあるようだ。例えば上限いくらで半額まで認めるといったものを作ったらどうか。皆のご意見を伺っておきたい。

笹田委員

今まで全くそういう頭がなかったので、ピンとこない。他事例をお示しいただきながら議論したい。

牛尾委員長

事例はあるか。

篠原書記

県内では益田、大田、雲南、松江、出雲は、会派は認めているが個人は認めていない。

牛尾委員長

条件は。

篠原書記

判例にあるように、一面の半分が顔写真やプロフィールのものは認めないなど、独自の基準は作っておられる。

佐々木委員

作成費や、郵送費、費用割合はどうか。

牛尾委員長

次回にきちんとした資料を用意するので、その時に議論をいただく。

小川委員

紙ベースで作ったもののお話だろうか。今はブログやホームページで広報している方もいる。そこも併せて検討していただきたい。

牛尾委員長

次の項目に移って良いだろうか。

( 「はい」という声あり )

## 議題3 行政視察について

牛尾委員長

かねてから時期の話は出ていたが、日程を確定させていただきたい。

前回、4月13日の週をおさえていただいた。14日から15日か、16日から17日のどちらかで決めていただければありがたい。

佐々木委員  
牛尾委員長

14日には広島へ行く予定がある。

では16日から17日の日程で決めたい。視察先は、去年から西脇を希望しているのだが視察が集中していてなかなか空かないようだ。議会改革の視察先とすれば議会改革ランク2位の大津市に行けたらと思っている。もう1つは議員定数絡みで、今日の資料の中から決めたい。大津が確定すれば資料の中の適当な場所にしたい。近江八幡や彦根など。生駒は遠いだろうから。同規模面積で言えば豊岡だが、そうでない場所に行ってみたいという意見もあった。

(以下、視察先について討議)

牛尾委員長

あとは正副と事務局に任せてもらえるか。

(「はい」という声あり)

牛尾委員長

では正副と事務局にお任せいただき、4月16、17日に予定する。

#### 議題4 その他

牛尾委員長  
笹田委員  
篠原書記

次回の開催について決定しておきたい。

事務局案はあるか。

あまり早いと資料準備の都合もあり辛い。

(以下、次回開催日について討議)

牛尾委員長

今回は3月10日の13時半からと決定する。

以上で今日の議題は終了したが、次長から何かあるか。

(「ありません」という声あり)

牛尾委員長

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

牛尾委員長

では、本日の会議を終了する。

(閉議 12時04分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議員定数等議会改革推進特別委員会 委員長 牛尾 昭 ⑩